新年のごあいさつ

三重県中小企業団体中央会
会長
佐久間　裕之

新年あけましておめでとうございます。

平成26年の新春を迎えるにあたり、謹んでごあいさつを申しあげます。

さて、わが国経済は、アベノミクス効果もあって景気はやや上向き傾向にあり、また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定も日本経済にとって明るい材料となっておりますが、中小企業においては輸入原材料の高騰、電力料金の値上げ等による負担増や4月からの消費税増税など、本年も厳しい状況が続くことが予想されます。

私ども中小企業が、困難な経営課題を乗り越え、景気回復のけん引役として一層の発展を遂げるためには、個々の中小企業者が不断の自助努力を積み重ね経営刷新を図ることが必要ですが、そこには自ずと限界があります。

個々の努力では対応できない経営環境を克服し未来を切り拓くためには、協同の力で経営課題の解決に取り組む中小企業連携組織の役割はますますその重要性を増し、中小企業ならではの機動力、柔軟性や創造性を活かして多様な経営資源を相互に補完し連携・ネットワークによる付加価値を創造するとともに、絶えず将来の展望を持ちながら積極的に挑戦し続けることが極めて肝要です。

中央会といたしましては、本年も、組合等を通じた中小企業振興はもとより、これまで培ってきた組織ネットワーク力を活かして、ものづくり中小企業の競争力の維持・強化、地域中小企業の人材確保・定着支援による人材育成、消費税転嫁対策の充実など時代に適応した有効な事業を展開し、これまでの中小企業連携組織の専門支援機関としての活動に加え、経済産業大臣から認定を受けた経営革新等支援機関として中小企業の支援に積極的に取り組んでまいります。

また、中小企業の経営力向上や競争力強化を目指した「三重県中小企業振興条例」の制定が進んでおりますが、私はその検討会の一員として三重県等関係機関と連携し県内中小企業の皆様がその力を思う存分に発揮できるような環境づくりに全力を傾注する所存ですので、変わらぬご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、本年が、皆様方にとって希望に満ちあふれ天馬が空を駆けるような飛躍の1年となりますとともに、皆様方のご繁栄とご健勝を心より祈念申しあげまして、新年のあいさつといたします。

三重県知事
鈴木　英敬

平成26年の年頭にあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。

三重県中小企業団体中央会ならびに各中小企業組合におかれましては、日頃から中小企業の連携と組織化への取組を通じて、本県産業の振興に多大なご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

現在、本県では「三重県中小企業振興条例（仮称）」の制定に向けて検討を進めているところですが、厳しい経営環境の中でも、1者でも多くの中小・小規模企業者の意欲を引き出したいとの思いから、特に経営資源が不足している小規模企業に対するきめ細かな支援に加え、人材の確保や育成に関する支援、さらには、中小・小規模企業が経営の向上及び改善につながる取組を着実に実行できるよう、新たな認定制度を創設し、県が後押しする措置を講じていきたいと考えています。

また、昨年4月から展開している、「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」は、本年が熊野古道世界遺産10周年を迎えることから、引き続き観光キャンペーンを官民一体となって展開するとともに、式年遷宮後も多くの観光客に訪れていただける持続性のある観光振興を図っていきます。

さらに、昨年9月、東京日本橋に設置した「三重テラス」は、市町や商工団体等と一体となった効果的なイベントの実施などにより、三重の旬の情報を発信し、三重県の認知度向上やブランド力アップ、県産品の販路拡大等につなげていきます。

三重県中小企業団体中央会ならびに各中小企業組合の皆様におかれましては、引き続き、中小企業相互の連携強化を図り、地域経済を牽引していただきますようお願いいたしますとともに、本年が三重県中小企業団体中央会のさらなる飛躍の年となり、会員の皆様方にとって幸多き年となりますよう心から祈念申し上げます。